

夏休み野外学習会を開催(沖縄本島南部地区)
～小学生と保護者が地下ダム等を見学～

土地改良総合事務所では、7月31日(木)、8月1日(金)に沖縄本島南部土地改良区の協力のもと「夏休み野外学習会」を開催しました。糸満市、八重瀬町の小学生4～6年生とその保護者を対象とし、2日間で35名が参加しました。学習会では、国営事業で造成された慶座地下ダム、仲座ファームポンド、仲座加圧機場を見学しました。まず、移動中のバス車内で、「宮古島の地下ダム」の映像を視聴しながら、地下ダムの仕組みについて説明を行いました。



【慶座地下ダムでの説明の様子】



【地下水位測定の様子】

その後、慶座地下ダムでは、実際の止水壁を見ながら地下ダム仕組みや地下ダムによって地域の農業がどのように変わったかななどの説明を受けました。また、施設内に生息するテナガエビなどを興味深く観察し、多くの生物が生息していることから水質の良さを実感していました。

高台に設置された仲座ファームポンドでは、地下ダムの水がどのように畑まで届くのかを興味深く学びました。また今回は、5年に1度のファームポンド内の清掃が行われていたため、業者の方から底部の堆積物を水中で吸い込む清掃用ロボットの操作方法について話を伺いました。以前は、ファームポンド内の水を全て抜き、改良区の職員が清掃を行っていましたが、水中清掃ロボットを活用することで、断水をせずに清掃ができるため、農家への負担がなくなったとのことでした。

参加した児童からは、印象に残った施設として、慶座地下ダムとの回答が多く、「水がきれい」、「円形のコンクリートで水を止めて貯めるのがすごい」、「水を大切にしようと思った。」との感想が寄せられました。また保護者からは、「南部にこのような施設があることを知れて良かった」、「施設があることは知っていたが、仕組みが分からなかったので今回学べて良かった」といった声や「生態系を崩さず水の供給ができていたので素晴らしい」などの声も聞かれました。

当事務所では、今後も土地改良区と連携して、学習会を開催していきます。



【仲座ファームポンド】



【止水壁のポーズ】



【慶座地下ダム】

(発信:土地改良総合事務所)